

6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 1 科目「ビジネス基礎」に関して、次の1～5に答えなさい。
- 今日の情報通信分野では、技術革新が進み続けており、様々な情報サービスが提供されています。情報サービスのうち、クラウドコンピューティングとは、どのような情報サービスですか。簡潔に書きなさい。
 - 3Rは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組の頭文字をとったものです。それぞれどのような取組ですか。簡潔に書きなさい。
 - 輸送（物流）における環境負荷の低減にはモーダルシフトや輸配送の協同化、輸送網の集約等の物流効率化が有効であるとされています。モーダルシフトとは、どのような取組ですか。簡潔に書きなさい。
 - ビジネス活動を行う上で、望ましい信頼関係を築くためには、ホスピタリティの意識を共有することが大切であるとされています。ビジネス活動におけるホスピタリティとは、どのようなことですか。簡潔に書きなさい。
 - 取引とビジネス計算に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。
 - ある株式を1株につき ¥ 2,845 で5,000株売却しました。手取金の総額は、いくらになりますか。求めなさい。ただし、約定代金の0.5680%に ¥ 16,720を加えた手数料を支払うものとします。
 - 大阪商会は、商品の仕入れに際して、次のように2社から見積書を受け取りました。どちらの企業から仕入れたら、より商品を安く仕入れることができますか。安く仕入れることができる会社名及びその際の仕入原価を書きなさい。ただし、運送諸掛を大阪商会在が負担する場合は、¥ 120,000(税込)必要であることとします。なお、空欄は各自で推定すること。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(8枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 に関して、次の1・2に答えなさい。

- 1 目標には、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されています。地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要とされているのは、どのような資質・能力ですか。簡潔に書きなさい。
- 2 科目「総合実践」 内容の取扱い (1) ア には、「商業の各分野の学習に関連する職業や業務に関して、地域や産業界等と連携して具体的な実務について理解を深める学習活動及び実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動を通して、ビジネスを担う当事者としての意識を高めるとともに、ビジネスの実務に対応することができるようにすること。」と示されています。実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動とは、どのような学習活動ですか。簡潔に書きなさい。

3 科目「マーケティング」に関して、次の1～4に答えなさい。

- 1 マーケティング・コンセプトには、マーケット・インとプロダクト・アウトなどの考え方があります。マーケット・インとプロダクト・アウトの違いは何ですか。顧客のニーズに対する考え方の違いを踏まえ、簡潔に書きなさい。
- 2 社会志向のマーケティングの中に、コーズ・リレーテッド・マーケティングという手法があります。コーズ・リレーテッド・マーケティングとは、どのような手法ですか。簡潔に書きなさい。
- 3 次の資料は、ある消費者が自動車について、デザイン、機能性、乗り心地、価格という4つの属性で評価し、また、それぞれの属性について、自らの重要性を評価したものです。A車・B車・C車のうち、この消費者が多属性態度モデルに従って選択する自動車はどれですか。書きなさい。

[資料]

	デザイン	機能性	乗り心地	価格
重要性	8	5	3	5
A 車	7	8	4	6
B 車	5	5	5	9
C 車	9	4	8	4

- 4 シェルフ・スペース・マネジメントにおいて、ライトアップの法則が効果的であると考えられています。ライトアップの法則とは、どのような法則ですか。簡潔に書きなさい。

6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 科目「観光ビジネス」に関して、次の1・2に答えなさい。

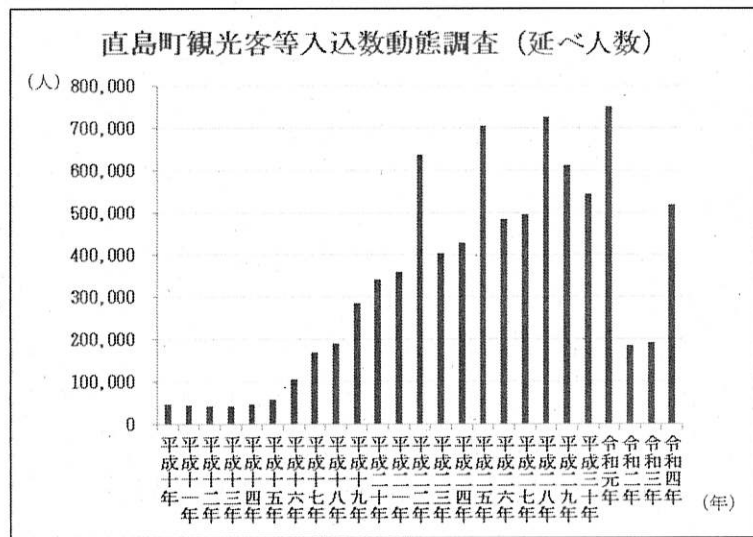
1 目的地への移動方法の一つに、パークアンドライドがあります。パークアンドライドとは、どのような移動方法のことですか。パークアンドライドの目的を踏まえ、簡潔に書きなさい。

2 次の資料Ⅰ～Ⅲは、香川県直島の観光について示したものです。地域ブランディングとは、どのような活動ですか。資料を踏まえ、簡潔に書きなさい。

[資料Ⅰ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅱ]



(直島町観光協会「直島町観光客等入込数動態調査」より作成。)

[資料Ⅲ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

5 科目「ビジネス法規」に関して、次の1～3に答えなさい。

- 1 乙は、甲が所有する住宅を3,000万円で購入しましたが、引き渡される直前になって、甲が「売り渡したのは建物だけです。」と主張し、建具を取り外して持ち帰ってしまいました。このような場合、乙は、どのように主張すれば、建具を取り戻すことができますか。建物と建具の関係を踏まえ、簡潔に書きなさい。
- 2 次の文は、知的財産権の存続期間について示したものです。文中の(1)～(4)に当てはまる数字の組み合わせとして正しいものはどれですか。下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

特許権は、出願の日から(1)年間、実用新案権は、出願の日から(2)年間、意匠権は、出願の日から(3)年間、商標権は、登録の日から(4)年間となっている。

- ア (1) 20 (2) 25 (3) 10 (4) 20
イ (1) 20 (2) 10 (3) 25 (4) 10
ウ (1) 25 (2) 20 (3) 10 (4) 10
エ (1) 25 (2) 10 (3) 20 (4) 15

- 3 会社は、法令等を遵守して健全に経営されるとともに、企業価値を増加させるように効率的に経営される必要があります。会社が、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえた上で、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みを何とといいますか。書きなさい。

6 会計に関して、あとの1・2に答えなさい。

- 1 A建設会社(決算日12月31日)は、価格確定契約により2つの工事契約を請け負っています。次の資料を基に、下の(1)・(2)に答えなさい。なお、全ての工事契約について成果の確実性が認められるので、工事進行基準(進捗度は原価割合による)により完成工事高(収益)及び完成工事原価(費用)を計上しています。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (1) 当期(○2年1月1日～○2年12月31日)における完成工事高の金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (2) 当期(○2年1月1日～○2年12月31日)における完成工事原価の金額は、いくらになりますか。求めなさい。

6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 B工業では、製品Cを生産・販売しています。次の資料を基に、下の(1)～(3)に答えなさい。なお、全部原価計算においては、製造間接費は生産量を配賦基準として実際配賦しています。また、製品の払出単価は、先入先出法を用いて計算しています。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[全部原価計算]

損 益 計 算 書					(単位：円)
	第1期	第2期	第3期	第4期	
売 上 高	()	()	()	()	
売 上 原 価	()	()	()	()	
売 上 総 利 益	()	()	()	()	
販売費・一般管理費	()	()	()	()	
営 業 利 益	()	()	(①)	()	

[直接原価計算]

損 益 計 算 書					(単位：円)
	第1期	第2期	第3期	第4期	
売 上 高	()	()	()	()	
変 動 売 上 原 価	()	()	()	()	
変 動 製 造 マー ジ ン	()	()	()	()	
固 定 費	()	()	()	()	
営 業 利 益	()	()	()	(②)	

- (1) 全部原価計算による損益計算書について、①に記入する金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (2) 直接原価計算による損益計算書について、②に記入する金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (3) 平均法を用いて製品の払出単価を計算すると、全部原価計算による第4期首の製品有高の金額は、いくらになりますか。求めなさい。

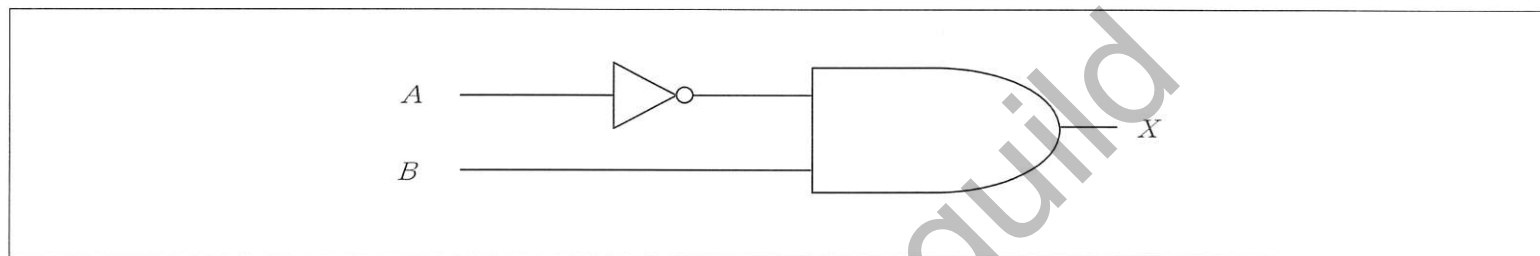
(8枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

7 ビジネス情報に関して、あとの1～3に答えなさい。

1 次の図は、論理演算を行う回路を示しています。入力と出力の組合せとして正しいものはどれですか。下のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。



ア

入力		出力
A	B	X
0	0	1
0	1	0
1	0	0
1	1	0

イ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	1
1	0	0
1	1	0

ウ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	0
1	0	1
1	1	0

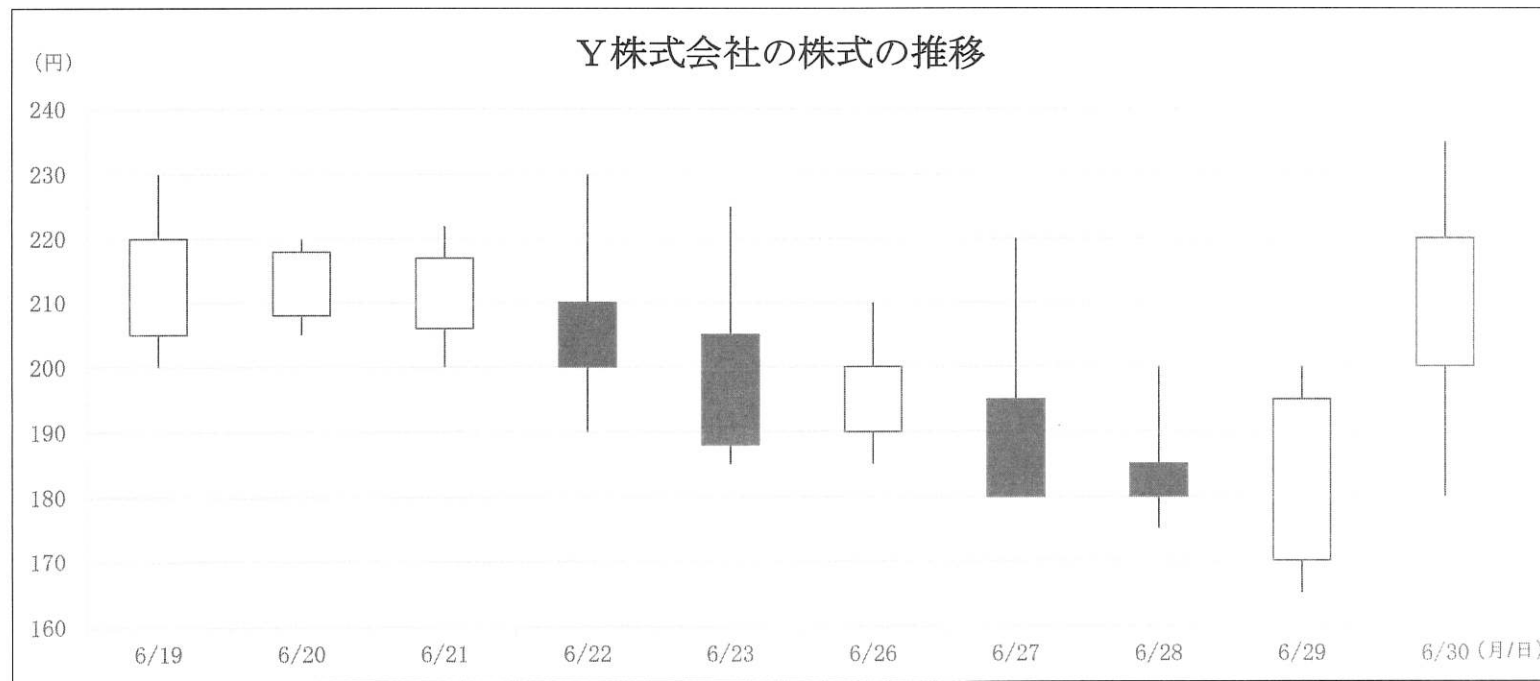
エ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

オ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

2 次の図は、Y株式会社の株価の推移を示しています。下の(1)・(2)に答えなさい。



(1) 6月19日から6月30日の期間で、終値が始値を上回った日数は、何日ですか。書きなさい。

(2) 6月22日の株価の組合せとして正しいものはどれですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 始値 190 円 高値 210 円 安値 200 円 終値 230 円
- イ 始値 200 円 高値 230 円 安値 190 円 終値 210 円
- ウ 始値 210 円 高値 230 円 安値 190 円 終値 200 円
- エ 始値 230 円 高値 210 円 安値 200 円 終値 190 円

6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち7)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 次の入力データのような得意先データを読み、処理条件にしたがって、実行結果のように表示させるアルゴリズムを流れ図に示すと、資料Ⅰのようになります。資料Ⅰの(1)～(4)には、どのような内容が入りますか。資料Ⅱのア～クの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

[入力データ]

得意先コード (Tco) ×××	売上金額 (Urikin) ××××××
------------------------	----------------------------

[実行結果]

(得意先コード)	(得意先名)	(売上金額)	(請求金額)
2005	尾道商会	130,000	130,000
2007	広島物産	200,000	180,000
}	}	}	}
2023	東広島商店	800,000	720,000

[処理条件]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅰ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅱ]

ア $Urikin \geq 200000$
イ $Urikin \leq 200000$
ウ $Urikin \times 0.9 \rightarrow Seikyu$
エ $Urikin \times 0.1 \rightarrow Seikyu$
オ $j - 1 \rightarrow j$
カ $j + 1 \rightarrow j$
キ Tco, Amei(j), Urikin, Seikyu を表示
ク Aco(Tco), Amei(Tco), Urikin, Seikyu を表示

(8枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 8 科目「ビジネス・マネジメント」において、次の資料Ⅰのとおり、「ビジネスの創造の意義と課題」に関する授業を行うこととします。本時において、資料Ⅲに示した本時の目標を達成させるために、どのような授業を展開しますか。資料Ⅰ・資料Ⅱを踏まえて、本時の授業計画を簡潔に書きなさい。

〔資料Ⅰ〕

学科・学年・生徒数	商業科・第2学年・40名		
科目名	ビジネス・マネジメント		
単元名	ビジネスの創造の意義と課題		
単元の目標	(1) ビジネスの創造の意義と課題について理解するとともに、課題解決に繋がる知識と技術を身に付けるようにする。 (2) 自ら課題を設定し、科学的な根拠に基づいて課題を絞りこみ、有効な解決策を構築する力を養う。 (3) ビジネスの創造と展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
単元の評価規準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの創造の意義と課題について理解している。 身近な課題の解決に繋がる知識と技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの創造の目的と意義について考察するとともに、その内容について表現する力を身に付けている。 自ら課題を設定し、有効な解決策であるビジネスモデルを構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの創造と展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
単元計画 (全5時間)	時数	主な学習内容	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本におけるビジネスの展開と創造について、基礎知識を学ぶ。 ビジネスの創造の意義と課題について学ぶ。 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの事例分析を行う。 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事例や具体的な課題を用いて、ビジネスの動向やビジネスに役立つ資源、情報を収集する。 	
	4 (本時)		
5	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに発表を行う。 身に付けた知識・技術等を確認し、今後の学習にどう活かしていくかまとめる。 		

〔資料Ⅱ〕

<p>【生徒の学習状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2時の授業において、ビジネスアイデアを実現するためにはビジネスプランの作成（ビジネスアイデアをいかに実現するかという戦術）と、ビジネスモデルの構築（ビジネスアイデアの実現に向けて、何を行うかを明確にする戦略）が必要であることについては、具体的な事例分析を通して学習している。 第3時の授業において、市町村の情報サイトや地域経済分析システムを活用し、学校のあるA市の現状把握等を行っている。 本時では、デジタル機器を活用したグループ学習を取り入れることにした。
--

〔資料Ⅲ〕

<p>【本時の目標】</p> <p>A市の資源、情報を基に、A市の課題解決に繋がるビジネスモデルを構築することができる。</p>
--

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄
1	1	
	2	
	3	
	4	
	5	(1) [円]
	(2) [株式会社] [円]	
2	1	
	2	

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
3	1	
	2	
	3	
	4	
4	1	
	2	
5	1	
	2	
	3	

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
6	1	(1)	
		(2)	
	2	(1)	
		(2)	
		(3)	
	7	1	
2		(1)	[目]
		(2)	
3		(1)	
		(2)	
		(3)	
	(4)		

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄		
	授業計画		
過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒 への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
8			

高等学校商業科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 従来は手元のコンピュータで管理又は利用していたソフトウェアやデータなどを、インターネットなどのネットワークを通じて、サービスの形で必要に応じて利用する情報サービス。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 ・リデュース（廃棄物の発生抑制） ・リユース（再使用） ・リサイクル（再資源化）	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。 3つとも合っているものだけを正答とする。	5
	3 二酸化炭素排出量が多い自動車輸送から、環境負荷の小さい鉄道や船舶による輸送に切り替える取組。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	4 「心からのおもてなし」「思いやり」という「もてなし精神」を意味する言葉で、企業のビジネス活動の中で、商品やサービスを提供する際に、人々に満足してもらうこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	5 (1) 14,127,482 [円] (2) 兵庫電機 [株式会社] 7,040,000 [円]		5 5
2	1 単に利益だけを優先するのではなく、企業活動が社会に及ぼす影響などに責任をもちながら、様々な経営資源を最適に組み合わせるとともに、他者とコミュニケーションを図るなどして、生産者、消費者などをつなぎ、地域産業をはじめ経済社会が健全で持続的に発展するよう、組織の一員としての役割を果たす資質・能力。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 小売業に関する仕入れと販売の取引や、コンピュータを活用した経営のシミュレーションなどを取り入れる学習活動。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
3	1 マーケット・インは、あらかじめ顧客のニーズを読み取って製品を作り出した方が効率がよいという考え方であるのに対して、プロダクト・アウトは、顧客のニーズを考慮せず、単純に作り出したものを販売するという考え方。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 企業が製品の売上高の一部を寄付するなど、社会的に意義のある活動を行う手法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	3 A 車		5
	4 商品が同じ高さに置かれている場合には、左側よりも右側に陳列してある商品の方が、顧客からの視認性が高くなるという法則。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
4	1 観光地等の渋滞緩和や地域環境改善等のため、自宅から最寄りの駅や停留所、目的地の手前まで自動車で行き、そこから公共交通機関を利用して目的地まで移動する方法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 瀬戸内海の島しょ部に位置する直島において、地域の自然や地域固有の文化の中に、古い家屋を改修した作品や、屋外彫刻を置くことに加え、「地中美術館」などの特別な場所を生み出したり、「瀬戸内国際芸術祭」を開催したりするなど、地域独自の魅力を掘り起こして内外の人々に向けて発信する活動。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	15

高等学校商業科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1 建物と建具は、主物と従物の関係にある。従物は、主物の処分に従うことが民法によって定められている。したがって、乙は、甲に対して、主物である建物が売られると、これにもなって従物である建具も売られることになるという。ことを主張する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
	2 イ		5	
	3 コーポレート・ガバナンス	企業統治 もよい。	5	
6	1 (1) 1,022,360,000 [円]		5	
	(2) 699,210,000 [円]		5	
	2 (1) 3,300,000 [円]		5	
	(2) 3,000,000 [円]		5	
	(3) 2,400,000 [円]		5	
7	1 イ		5	
	2 (1) 6 [日]		5	
		(2) ウ		5
	3 (1) カ		5	
		(2) ア		5
		(3) ウ		5
		(4) キ		5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]			採 点 上 の 注 意	配 点	
8	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていない。	20
	導入	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で学習するビジネスモデルの構築に向けた流れについて、確認する。 ○前時に個人のワークシートにまとめたA市の現状・課題について、再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスの創造や授業の目的・意義について理解させる。 ○身近な社会課題に取り組むことが、社会全体の価値の創造につながるということを意識させる。 			
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスアイデアを考案する。(個人及びグループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートを基に、個人でビジネスアイデアを考案する。 ・個人で調べた情報と、その情報を基に考案したビジネスアイデアを出し合い、グループで情報共有を行う。 ・デジタルホワイトボードを用いてグループでSWOT分析を行い、A市の現状・課題を整理した上で、グループで取り扱うビジネスアイデアを決定する。 ○ビジネスプランを作成する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアの実現に向けて、ビジネスプランを作成する。 ○ビジネスモデルを構築する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアの実現に向けて必要な資源を整理し、ビジネスモデルを構築する。 ○発表に向けて資料を作成する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション作成ツールを用いて、発表用資料を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時に実践するビジネスモデル構築に向けた取組内容を、個人のワークシートにも記入しながら演習を行うように指示する。 ◆ビジネスプランの作成が進まないグループには、前時までの学習内容を想起させ、ビジネスアイデアを5W1Hで整理することを助言する。 ○ビジネスモデルの構築に向けて、人的資源・物的資源・財務的資源・情動的資源について整理するように指示する。 ○発表用資料の作成に当たっては、グループ内での役割分担を決めて取り組むように指示する。 	自ら課題を設定し、有効な解決策であるビジネスモデルを構築している。 (ワークシート)		
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の授業を振り返り、個人のワークシートに記入する。 ○次時の学習内容について説明を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を通して学んだことを個人のワークシートに記入するように指示する。 ○次時の発表に向けてシナリオを考えておくように助言する。 			